

議会報告会報告書提出

広報広聴委員会では、6月に行った市議会報告会において各会場で頂いた多くのご意見の中から、特に市内全域に関わる課題についてとりまとめ、議長及び市長へ報告書を提出しました。

市議会としては、市内全域に関わる課題、またその地域ごとに抱える深刻なご意見を直接伺うことが出来ました。貴重なご意見を議員各位がさらに精査するとともに、一般質問や情報提供等様々な形で市に伝えてまいります。

今後とも議員一同、議会の活性化を図り、市民の皆様の負託に的確にこたえ開かれた議会運営に努めてまいります。なお、市長へ提出しました報告書については、市議会ホームページからご覧になれます。



委員長から大豆田議員へ提出



市長へ提出

みなさんからの請願・陳情（委員会審査状況）

陳情第1号

県立高等学校入学選抜で再募集実施を求める意見書採択・提出にかかわる陳情

（平成29年3月提出）

（提出者）

宇都宮市兵庫塚3-10-1 全栃木教職員組合 執行委員長 桑川 祥一

（陳情の趣旨）

県立高等学校入学選抜で定員を満たすための再募集実施を行うよう栃木県教育委員会に意見書の提出を求めるもの

（文教常任委員会審査の内容・結果）

審査した結果、継続審査の理由であった、本県が県立高等学校入学選抜の再募集を行わない理由については、本県の県立高等学校入学選抜は全日制、定時制、通信制の各課程が重ならない日程で入試が行われることから、再募集を行っていません。また、文部科学省の県立高校再募集の調査では、2016年度入試で欠員が生じた場合の再募集をしなかった都道府県は、4県であり、それ以外の県は、欠員が生じた場合

は再募集を実施していません。このようなことから、本県でも県立高校の再募集を実施し、県立高校の全日制の高校に進学したい生徒のためにも、生徒の考えにマッチングした受験制度を検討する必要があります。更に、本県が本年3月に発表された、第2期県立高校再編計画（案）に、本市にある黒羽高校が特例校の候補として名前が挙がっています。黒羽高校は地元で就職する生徒が多く、地元定着率が高い高校であることから、もし定員割れが生じた場合は再募集を行うことが重要であります。このようなことから、審査した結果、全員異議なく「採択」とすることに決しました。

情報公開条例における写しの交付費用について、他市町村や市で契約している複写機の費用などを考慮し、費用の引き下げを求めるもの

（陳情の趣旨）

情報公開条例における写しの交付費用について、他市町村や市で契約している複写機の費用などを考慮し、費用の引き下げを求めるもの

（提出者）

大田原市岡495 鈴木 たかし

請願・陳情はこんな方法で

- 請願(陳情)書は、議会事務局へ持参してください。
内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願(陳情)者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
用紙のサイズはA4版をお願いいたします。
道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

〈請願(陳情)書の書式例〉

《表紙》

〇〇〇に関する 請願(陳情)

紹介議員名 (陳情は不要)



《内容》

- 1. 請願(陳情)の趣旨
2. 請願(陳情)の理由
平成〇年〇月〇日

請願(陳情)者

住所
氏名
大田原市議会議長あて

